

# ひとみ つうしん



視覚支援センター

(山形県立山形盲学校内)

令和5年10月発行 第2号

秋の音が聞こえる美しい季節がやってきました。虫の声も様々聞こえるようになってきました。「リーンリーンリーン」「コロコロリー」「ギースチョン」「スイッチョン」「リーリー」それぞれ何という虫の鳴き声でしょうか？答えは裏ページに載っていますので、お子さんと虫の声クイズをしたり、同じ虫の声を見つけたりして楽しんでみてください。



## 見えにくい子の発達と遊び

### ○ゆっくり育つ見えにくい子

人の情報の8割は目からの情報と言われています。見える子どもは様々な物を見て興味をもち、そこから「触ってみよう」「よく見てみよう」という気持ちをもち、手や目の使い方が自然と身に付いていきます。見えにくい子はその情報が限られ、その機会が少ないため、動作面、思考面でゆっくり育っていく傾向にあります。しかし、同じような経験を積み重ねることで同じように発達していくと言われていいます。一人一人のお子さんの「やってみたい」を大切にしながら、「楽しい」「もっとやりたい」「好き」を増やしていきましょう。

下の表を参考に発達の段階に合わせた遊びを意識し、遊びを積み重ねていきましょう。ペースは一人一人違って大丈夫です。焦らずステップアップしていきましょう。

0歳

感覚運動活動期	出し入れ活動期	弁別活動期	はめこみ構成活動期	自由構成活動期

「発達段階に応じた教具と盲幼児・盲重複児の指導のポイント」より一部使用

☆空き箱や紙筒、容器などで☆

ご家庭で不要になった空き箱や紙筒などを使って遊びます。空き箱や容器は、重ねて高さを出してタワー作りができます。丸い筒やペットボトルなどは、中に入れる素材を変えて楽器作りができます。

☆折り紙など紙素材で☆



折り紙は、子どもの手指操作に適した扱いやすいサイズがよいです。角を合わせたり、外側の折り山の方を手がかりに折ったりなど簡易な方法で、容れ物や花などを作れます。やっこさん作りなどは人の形状を理解できます。

「視覚に障害のある乳幼児の育ちを支える」より一部使用

## 令和5年度 ひとみくらぶ

— 視覚に障がいのある乳幼児の保護者の集い —

- 1 日時 令和5年11月15日(水) 14:30~15:30
- 2 場所 山形県立山形盲学校
- 3 日程と内容

14:30	<集合> はじめのかい (プレイルーム)	
14:35	<ひとみくらぶ> (相談室3) (1) 研修会 (体験講座) 「作って遊ぼう! 目や手を使った遊び」 講師: 鈴木 彩 教諭 (本校小学部所属) 作ってみよう! ゆらゆらペットボトル キラキラスティック など	
15:10	(2) 座談会	
15:30	<終了・解散>	

お子さんの普段の様子や、「こんなときどうしてる?」等々、子育ての悩みをざっくばらんにお話ししましょう♪

「ひとみくらぶ」についてのお問い合わせは…

視覚支援センター (山形盲学校内)  
TEL: 023-672-4116  
FAX: 023-672-4117  
担当: 矢野 みわ (やの みわ)

◆ 参加なさる場合は、10/25(水)までに ご連絡ください。◆

虫の鳴き声 答え

「リーンリーンリーン」→スズムシ。 「コロコロリー」→コオロギ。  
「ギースチョン」→キリギリス。 「スイッチョン」→ウマオイ。  
「リーリー」→アオマツムシ